

えんちょう通信

No.27

令和2年9月17日

福島市立清水幼稚園

発行者 佐藤一男

「心の準備」を

9月11日(金)、避難訓練と引き渡し訓練を行いました。午後1時15分に、地震発生の緊急放送が入りました。子どもたちは黙って、先生方の近く集まり、地震がおさまるのを待ちました。その後、先生の指示に従って小学校の校庭に避難しました。4歳と5歳の子どもたちですが全員が黙って避難できました。泣いたり、ふざけたりする子は一人もいませんでした。



[整然と引き渡し訓練が行われました]

その後、引き渡しの訓練です。先に来た保護者の方から引き渡しのテーブルで、子どもの名前を言い、担任が確認し、子どもたちを一人ずつ保護者の方に引き渡していきました。午後2時には全員の引き渡しが完了しました。

東日本大震災からちょうど九年半が経ちました。

突然の出来事、予想していないことが起きると、人は誰でも慌てます。どうしてよいのかわからなくなります。でも、その時に「心の準備」ができていると、ほんの少しかもしれませんが、対応や行動に違いが出てくるように思います。非常時には、その少しの違いが生死を分けることもあるかもしれません。その「心の準備」をするためには、やはり訓練を重ねておくことが大切なのだと考えています。

いよいよ運動会です



[準備も自分たちでやります]

いよいよ明後日、19日(土)は運動会です。今年は子どもたちの競技・演技だけに種目を制限して行います。

例年よりも時間に余裕がありますから、障害物競走の準備や片付けなどは、子どもたちがやるようにしました。またリレーのときに、チームで作戦を立てて、走る順番を決める様子も見ていただけたと思います。

子どもたちの「学び」や「成長」は、そういう姿の中に見て取ることができると思っています。「準備や片付けができる」、「みんなで協力して問題を解決できる」、あるいは、「一生懸命頑張っている人を応援できる」、そういう力は、子どもたちが社会に出たときに大きな力になると思います。

ですから、運動会が終わったら、子どもたちに「障害物競走の片付けもよくできたね。立派だったよ。」「いい作戦だったね。」「応援も頑張ったね。」とほめてあげてください。